

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 詩篇 37:3-6 …… 御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
- *賛美 …… 21番 力の主を
- *交読文 …… 9番
- *使徒信条 …… 会衆一同
- *頌栄 …… 177番 御霊よ、降りて
- 礼拝のための祈り …… 成田エクレシア:浪川執事 天声:小林伝道師
- 聖餐式 …… 281番 しみもとがも
- メッセージ …… 祝福の安定飛行の秘訣(創世記 26:23-24)
- 御言葉を適用する祈り …… 会衆一同
- 賛美 …… 399番 さかえの王にます主の
- 幸せと成功の宣言文 …… 会衆一同
- 献金感謝の祈り …… パスター
- 報告 ……
- *主の祈り …… 会衆一同
- *祝祷 …… パスター

天声教会は

- ・御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。(ヨハネ 1:1、マタイ 3:17、17:5)
- ・主の御言葉を心で信じて義に至る教会。(ローマ 10:10)
- ・全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。(ローマ 10:10)
- ・受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。(第二テサロニケ 3:5)

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

悪をなす者のゆえに、心を悩ますな。不義を行う者のゆえに、ねたみを起すな。彼らはやがて草のように衰え、青菜のようにしおれるからである。主に信頼して善を行え。そうすれば____はこの国に住んで、安きを得る。主によって喜びをなせ。主は____の心の願いをかなえられる。____の道を主にゆだねよ。主に信頼せよ、主はそれをなしとげ、____の義を光のように明らかにし、____の正しいことを真昼のように明らかにされる。主の前にもだし、耐え忍びて主を待ち望め。おのが道を歩んで栄える者のゆえに、悪いはかりごとを遂げる人のゆえに、心を悩ますな。怒りをやめ、憤りを捨てよ。心を悩ますな、これはただ悪を行うに至るのみだ。悪を行う者は断ち滅ぼされ、主を待ち望む者は国を継ぐからである。悪しき者はただしばらくで、うせ去る。____は彼の所をつぶさに尋ねても彼はいない。しかし柔和な者は国を継ぎ、豊かな繁栄を楽しむことができる。悪しき者は正しい者にむかって／はかりごとをめぐらし、これにむかって齒がみする。しかし主は悪しき者を笑われる、彼の日の来るのを見られるからである。悪しき者はつるぎを抜き、弓を張って、貧しい者と乏しい者とを倒し、直く歩む者を殺そうとする。しかしそのつるぎはおのが胸を刺し、その弓は折られる。(詩篇 37:1-15)

今月のカレンダー聖句は創世記 26:23-24、イサクがベエル・シェバへと戻った箇所である。ベエル・シェバは、信仰の父アブラハムが正式な手続きを経てペリシテの王アビメレクから譲り受け、潤いある地へと開墾した。息子イサクは、飢饉が起きた時、その地方を離れてアビメレクの所に身を寄せたが、その時主が彼に現れて言われた。『エジプトへ「下って」はならない。わたしがあなたに示す地に留まりなさい。』(2節) 霊的にも「上り」「下り」の概念がある。「上り」は神に近づく方面・御言葉に従う方面で、「下り」は神から遠ざかる方面・御言葉に従わない方面である。イサクは食糧の問題が起きた時、祈りや信仰という「上り」の方法ではなく、約束の地を離れ、世へと「下る」方法で解決しようとしたため、色々な苦勞をする事になる。

彼は「下り」はしたものの、主が「留まれ」と言われた所に留まって、種をまくと、100倍の収穫を得た。しかしペリシテ人は、今まで見た事がないような祝福を、よそ者であるイサクが享受するのを見て、妬みに満たされ、彼の父・アブラハムが掘った全ての井戸を、埋めてしまった。水の少ないパレスチナ地方で、水は命そのものであるのに、わざわざ重労働までして祝福を妨害する…神を知らぬ人が良くない思いに駆られて、する事は、ただ破壊であるが、信仰の人は、祈りや信仰による「上り」の方法で、産物やいのちを増し加える。 イサク達は別の地に移らざるを得なくなったが、彼は、移動した先で早速、湧き水の出る井戸を見つけた。しかし、現地の人たちは、「この水はわれわれのものだ。」と言って争ったため、イサクはその井戸の名を「エセク(押し付ける、争い)」と名付けた。他人が労して得た湧き水を、「自分のものだ」と言って、言い分を押し付けて争うのは、世においては常套手段である。しかしイサクは、押し付けず、争わずにそこを去った。私達も、不正や悪を行う者に腹を立てず、主を信じ、日々、誠実を養ったイサクやヨセフの模範にならうべきである。記されている御言葉に信頼して主に委ねる事は、弱さではない。自前の武力や弁論などで解決をはかるのではなく、御言葉を信頼して主に任せる人こそ、町を制する者にまさる、真に強い人である。イサク達は場所を移し、もう一つの井戸を掘り当てた。しかしそこでも、井戸を巡る争いが起きた。それでその名を「シテナ(敵対心、告発)」と呼んだ。今度は、敵対心むき出しにして告発して来たのだろう。それでもイサクは、またも、平和の内にそこを去り、さらに場所を移して他の井戸を掘った。その井戸については、争いがなかったので、その名を「レホボテ(広場、広い道)」と呼んで、言った。『いま主が我々の場所を広げられたから、我々はこの地に増えるであろう。』(23節) 彼はようやく、争う人も、争いの種も無い地で井戸を得たが、彼はすぐに場所を変え、信仰の父アブラハムの由来の地、ベエル・シェバに「上った」。彼は「上」を見上げた結果、結局、信仰の父が築いた井戸のある地、神の約束がある地こそ、自分が産んで増えて地に満ちていくべき地だ、と悟ったのだ。私達も、上にあるものを求め続けるべきだ。そこはキリストが神の右に座しておられるからだ(コロサイ 3:1)。その夜、主がイサクに現れて言った。「恐れてはならない」「わたしはあなたと共にいてあなたを祝福し、あなたの子孫を増す」。それで彼は、ベエル・シェバに祭壇(礼拝場所)を築き、天幕を張って住居を構え、井戸を掘って生活の準備を整えた(24-25節)。私達も、御言葉の約束が示す地やポジションに、留まり続けるべきである。

しばらくすると、かつて彼が滞在していたペリシテの王アビメレクが、友人や將軍を連れてわざわざ訪ねて来た。彼らは言った。主があなたとともにおられることをはっきり見た、それで平和同盟を結びたい、と。かつて、刺々しくイサクを追い出した彼らが恐れをなした理由は、主の栄光と力を、はっきり見たからだ。主がともにいるなら、何をしても栄え、非常に祝福され、敵から恐れられる。私達もイサクにならうなら、争いが無く、安心して生んで増えて行ける地、敵が膝をかがめに来る地、ベエル・シェバを得るのだ。

聖書で、イサクについて記された書面の分量は、信仰の先祖アブラハム・イサク・ヤコブの中では、最も短く、波瀾万丈さも、最も無い。それで物語として読むには、つまらないかもしれない。しかし彼は最も長く生き(アブラハム 175年、イサク 180年、ヤコブ 147年)、波瀾万丈の乱気流に巻き込まれる事なく、祝福の安定飛行をキープし続けた。彼のような祝福を得る秘訣は、まず柔和である事だ(マタイ 5:5)。彼は100倍の収穫を得たが、100倍の実を結ぶ人とは、御言葉を聞いたならそれを正しい心・良い心でしっかり守り、耐え忍んで実を結ぶに至る人である(ルカ 8:15)。イサクのように柔和さを身に着け、ベエル・シェバを獲得し、穏やかで尊厳ある一生を送って行く私達でありますように！イエス様のお名前によって祝福します！

お祈りしていただきたい事がありましたら、以下にお書きの上、教会へお持ち下さい。

横浜天声キリスト教会

礼拝 週報



集会案内

主日礼拝(日曜)

日本語礼拝 11:30 開始
交わり 13~14時
English Service 14時半開始

日々の集会

月~金 早天祈祷会 5:00~
火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00~
火~木 夜の祈祷会 19:00~

水曜礼拝

1部 13:00~
2部 19:00~
金曜祈祷会 19:00~

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → youtube.com/c/横浜天声キリスト教会

アクセス



横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分
JR・関内駅より徒歩10分
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージをメールで
お届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！

〒231-0058 パスター: 林和也 川合ゆきえ
神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I-201
TEL/FAX: 045-326-6211
Homepage: <http://voice.of.christ.yokohama/>
email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp

